

弘前城石垣修理

第26回 ～令和7年度の工事内容について～

約100年ぶりの弘前城石垣修理事業は、令和6年12月に石垣の積み直しを終え(※1)佳境を迎えています。



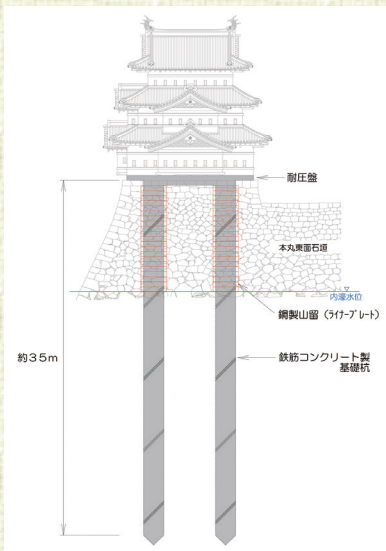
▲(※1) 石垣修理前



▲(※1) 石垣積み直し終了後

令和7年度は天守の基礎耐震補強工事と曳戻し準備工事を予定しています。基礎耐震補強工事(※2)は、重要文化財である天守(1810〈文化7〉年再建)の基礎の耐震化に向けて、天守台部分(本丸南東隅)に直径2メートル、長さ約35メートルの基礎杭を4本設置するものです。

昨年度に引き続き、杭設置部に土留のライナープレートを設置しながら12メートルの深さまで発掘調査を実施します(※3)。昨年度の発掘調査では、



▲(※2) 天守基礎耐震補強イメージ図

2,600～2,400年前の縄文時代晩期の集落の一部が確認されたほか、江戸時代のものでは天守台が築かれる前の柱穴が確認されています。発掘調査で出土した遺物の一部は、弘前城情報館で展示していますので、ぜひご覧ください(※4)。



▲(※3) ライナープレート内部での発掘調査風景

秋頃には、12メートルより深い部分を機械で掘り下げる作業に着手し、その後は鉄筋かご設置、コンクリート打設という流れで1本ずつ仕上げ、今年度中に4本全てを終える予定です。

並行して行う曳戻し準備工事は、令和8年度に予定している天守の曳戻しに向けて、仮設通路の設置や内部公開のために設置していた仮補強鉄骨の解体等を行うものです。



▲(※4) 弘前城情報館で展示している縄文土器群

なお、天守・岩木山・さくらと一緒に眺望できる展望デッキは天守曳戻しのルート上にあるため、これらの工事に伴い令和7年度中に解体する予定です。天守と岩木山と一緒に眺めることができる最後の機会ですので、ぜひ弘前城へ訪れて展望デッキをご利用ください(※5)。



▲(※5) 展望デッキから天守・岩木山方向を望む景色

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前市緑の相談所内、☎33-8739)



▲弘前城本丸石垣修理事業



▲弘前城かわら版